

# やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画

平成27年度進捗状況報告書（対26年度実績）

## — 目 次 —

### 1 やちよ男女共同参画プラン実施計画に基づく進捗状況報告

(1) 概要.....	1
(2) 具体的な取組の進捗状況.....	1
主要課題Ⅰ 等しく認めあう — 男女共同参画の意識づくり — (52 事業) .....	1
主要課題Ⅱ 共につくりだす — あらゆる場への男女共同参画 — (42 事業) .....	3
主要課題Ⅲ 自分らしく生きる — ワーク・ライフ・バランスの推進 — (50 事業) .....	5
主要課題Ⅳ 健やかに暮らす — いきいきと暮らすための健康と福祉の増進 — (76 事業) .....	6
主要課題Ⅴ みんなで推進する — 推進体制の整備と協働の推進 — (15 事業) .....	8
主要課題Ⅰ～Ⅴ (235 事業) .....	9
(3) 指標の進捗状況.....	10
(4) 今後の取組.....	10

### 2 審議会等における女性委員・公募委員の登用状況報告

(1) 目的.....	11
(2) 目標.....	11
(3) 審議会等数・委員数 (平成 27 年 4 月 1 日現在) .....	11
(4) 登用状況及び今後の見解 .....	11

#### 【資料】

1 やちよ男女共同参画プラン第 1 期実施計画 進捗状況集計.....	13
2 やちよ男女共同参画プラン第 1 期実施計画 進捗状況一覧.....	14
3 やちよ男女共同参画プラン第 1 期実施計画 指標一覧.....	39
4 八千代市審議会等における女性委員 登用状況集計.....	41
5 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況一覧.....	42

# 1 やちよ男女共同参画プラン実施計画に基づく進捗状況報告

〔資料〕 資料1 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 進捗状況集計  
 資料2 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 進捗状況一覧

## (1) 概要

本報告書は、平成23年度から平成27年度までを計画期間とする、やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画に掲げる取組について、各事業の所管課に対し、平成26年度における進捗状況を調査した結果を取りまとめたものである。

平成27年度は235事業について調査を行ったが、当該調査では、やちよ男女共同参画プランの基本計画に掲げる5つの主要課題に沿った形で事業が実施されているか、また、事業の実施により男女共同参画社会の形成に資するような成果が得られたか等の観点から、各事業の所管課において進捗度の評価を行っている。更に、調査結果に基づき、男女共同参画課による評価を加えている。

## (2) 具体的な取組の進捗状況

### 主要課題Ⅰ 等しく認めあう — 男女共同参画の意識づくり — (52事業)

女性と男性が、家庭・地域・職場・学校などのあらゆる場面において、互いに等しく認めあう男女平等の意識づくりを進める。

#### 担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	26	51.0%	25	49.0%	0	0.0%	51	100%
24年度	23	44.2%	28	53.9%	1	1.9%	52	100%
25年度	26	51.0%	25	49.0%	0	0.0%	51	100%
26年度	14	26.9%	36	69.2%	2	3.9%	52	100%

#### 男女共同参画課による評価

評価 年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持（具体的な 取組を行った）		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	30	58.8%	21	41.2%	0	0.0%	0	0.0%	51	100%
24年度	23	44.2%	29	55.8%	0	0.0%	0	0.0%	52	100%
25年度	26	51.0%	25	49.0%	0	0.0%	0	0.0%	51	100%
26年度	14	26.9%	36	69.2%	0	0.0%	2	3.9%	52	100%

### ① 固定的な意識の是正

#### (ア) 目的

- ・「男性だから」「女性だから」ということで、生き方の選択の幅が狭められることのない社会をつくるため、男女平等意識の推進を図る。

- ・一人一人が個性と能力を最大限に発揮して生きられるよう、人権及び人格を尊重する意識の浸透を促進する。
- ・性別による役割分担意識の是正のための調査及び研究をし、課題の把握と解決に取り組む。また、男女共同参画の推進に向け、情報を市民に提供する。

#### (イ) 主な事業の実績

##### 男女平等に関する啓発活動の推進（事業番号 2◆2）

全国で実施される男女共同参画社会づくりの啓発事業の一環として、男女共同参画週間事業・人まかせにしないで「地震・災害からいのちを守る」を開催、講談「女性と防災」と防災士による講演を行い、災害時における女性の役割や地域の関わり方についての啓発を行った。

##### 相談の場の提供、相談の実施（事業番号 6◆2）

悩みを抱える女性に対し、電話での相談を実施して、精神的な支援を行った。

#### ② 男女の人権擁護

##### (ア) 目的

- ・ドメスティックバイオレンス（DV）が人権侵害であることについての意識啓発を行い、相談体制の充実を図る。
- ・セクシュアルハラスメント防止の意識啓発を行い、相談体制の充実を図る。

#### (イ) 主な事業の実績

##### 暴力行為を許さない意識づくり（事業番号 9）

配偶者・パートナー等からの暴力を阻止し、被害者の保護を図るため「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき各種パンフレットの配布を行い、広報及び意識の啓発を行った。

##### 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実（事業番号 11◆1）

「八千代市職員のセクシュアルハラスメントに関する苦情処理要領」に基づき、苦情処理担当窓口を設置し、セクシュアルハラスメント等に関する相談を行った。

#### ③ 男女平等の視点に立った教育の推進

##### (ア) 目的

- ・固定的な性別役割にとらわれずに個人の能力や適性を生かすことのできる男女平等の視点に立った保育及び教育を推進し、男女平等の意識の啓発を行うとともに、それぞれ自立した生活ができる能力を身につける。
- ・家庭や地域、職場などのあらゆる場において、男女平等の社会的風土を醸成し、生涯にわたり男女平等の視点に立った教育を進める。

(イ) 主な事業の実績

**暴力行為を許さない意識づくり（事業番号 9）**

DV 被害の相談先が記載されているカードを公共施設で配布することによって、相談機関の情報提供やDV 発生防止の意識づくりに努めた。

**父親の子育て推進（事業番号 25）**

夫婦で子育てする意識の啓発を目的とした事業「お父さんと一緒に遊ぼうよ」を実施し、父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や、父親同士の交流の場を提供した。また、「子育てにかかわりたいパパのためのしおり」を配布し、意識啓発を行った。

**主要課題Ⅱ 共につくりだす — あらゆる場への男女共同参画 — （42 事業）**

家庭・地域・職場等あらゆる分野でいきいきと活動していくため、行政における審議会等の女性委員の割合を増やすことや、性別役割分担意識の是正を行い、組織の方針、決定の場への女性の参画を進める。また、家庭生活と職業生活の両立ができる支援策や意識改革を進めるとともに、国際理解を深めるための情報提供や、外国人へのコミュニケーション支援を図る。

担当課評価

年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	26	61.9%	16	38.1%	0	0.0%	42	100%
24年度	26	60.5%	17	39.5%	0	0.0%	43	100%
25年度	27	64.3%	15	35.7%	0	0.0%	42	100%
26年度	19	45.2%	23	54.8%	0	0.0%	42	100%

男女共同参画課による評価

年度	A 積極的な推進が見られた		B 現状維持（具体的な取組を行った）		C 取り組み方が十分でない		D・E・F 未実施・休止・廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	30	69.8%	12	27.9%	0	0.0%	0	2.3%	43	100%
24年度	27	62.8%	16	37.2%	0	0.0%	0	0.0%	43	100%
25年度	27	64.3%	15	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	42	100%
26年度	20	47.6%	22	52.4%	0	0.0%	0	0.0%	42	100%

① 政策・方針決定の場への男女共同参画

(ア) 目的

- ・政策、方針決定の場への女性の参画を進めるため、女性のいない審議会等をなくし、女性委員の割合を高める。また、市民登用の機会均等を図るため、審議会等の公募委員の割合を高める。

- ・男女共同参画推進及び指導者等育成のための学習機会を充実させるとともに、女性の交流の機会を充実させ、ネットワークの形成を支援する。

#### (イ) 主な事業の実績

##### 審議会等における女性委員比率目標達成（事業番号 26）

女性委員の登用率は 31.9%で、前年に比べ 1.1 ポイント減少した。

##### 審議会・委員会等委員における公募委員登用機会均等（事業番号 27）

公募委員の登用率は 9.8%で、前年に比べ 0.5 ポイント上昇した。

### ② 地域での男女共同参画

#### (ア) 目的

- ・男女が共同して地域づくりへ参画する意識づくりを行う。また、市民活動団体、ボランティア団体への支援や育成を行う。
- ・地域における多様な主体による身近な活動を支援し、実践的に男女共同参画を推進する。

#### (イ) 主な事業の実績

##### 自治会の支援・育成（事業番号 30）

自治会活動事業への補助金交付による支援を行うとともに、自治会への加入、新規の結成を働きかけて自治会の育成を図った。

##### 女性消防団員の事業参画推進（事業番号 35）

総合防災訓練、防災フェア等に参加し、普通救命講習指導を実施。全国女性消防団活性化千葉大会に参加し、活動状況を発表した。

##### 地域子育て支援ネットワークの構築（事業番号 42）

安心して子育てできる地域づくりの推進に向け、各地域子育て支援センター、子ども支援センターにおいて地域情報交換会を開催し、地域の特性に合わせた子育て支援の推進及び市民や関係機関とのネットワーク化を図った。（開催回数：9回、参加者 208人）

### ③ 国際社会への理解と交流の推進

#### (ア) 目的

- ・平和に向けた国際理解を深めるため、国際化について学ぶ機会の充実を図る。また、外国人に対するコミュニケーション支援の充実に努める。
- ・国際交流機会の充実を図り、事業を行う人材の育成に努める。

#### (イ) 主な事業の実績

##### 外国人に対するコミュニケーション支援（事業番号 49◆1）

多文化交流センターにおいて在住外国人に対し、通訳を配置し、各種相談・情報提供を実施した。内容は水道・ガスなど暮らしに関することや学校や行政などから届いた書類の翻訳など生活全般で 1,035 件となった。センター内にある交流室の延利用人数は 1,725 人。

### 主要課題Ⅲ 自分らしく生きる — ワーク・ライフ・バランスの推進 — (50事業)

「女だから」「男だから」という固定的な考え方にとらわれず、多様な働き方・生き方を選択できるような環境整備を行い、生涯にわたる学習機会の充実を図る。

#### 担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	23	43.4%	30	56.6%	0	0.0%	53	100%
24年度	21	39.6%	32	60.4%	0	0.0%	53	100%
25年度	22	44.0%	28	56.0%	0	0.0%	50	100%
26年度	18	36.0%	32	64.0%	0	0.0%	50	100%

#### 男女共同参画課による評価

評価 年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持（具体的な 取組を行った）		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	26	49.1%	27	50.9%	0	0.0%	0	0.0%	53	100%
24年度	24	45.3%	29	54.7%	0	0.0%	0	0.0%	53	100%
25年度	22	44.0%	28	56.0%	0	0.0%	0	0.0%	50	100%
26年度	15	30.0%	35	70.0%	0	0.0%	0	0.0%	50	100%

#### ① 働く場における男女共同参画

##### (ア) 目的

- ・職場における男女共同参画を推進するための意識啓発を行い、相談や情報提供の機会の充実を図る。
- ・個々の能力と志向に応じて仕事ができるよう就業の機会拡充のための啓発を行う。
- ・仕事と生活を両立し、多様な働き方ができるよう育児休業制度等の周知、労働時間短縮の啓発を行う。また、妊娠、出産、育児が仕事上の差別とならないよう母性保護に関する啓発を行う。

##### (イ) 主な事業の実績

#### 女性の就業対策の推進（事業番号 66）

結婚・出産・育児等を機に職を離れた女性を対象に、再就職や起業に必要な判断能力や適応力を養うための講座を開催して支援を行った。

#### ② 家庭における男女共同参画

##### (ア) 目的

- ・家庭への男性の参加を促進するための意識づくりを行い、家事等を身につけることができるよう学習機会の充実を図る。

- ・介護への男女共同参画の意識づくりや学習機会の充実を図る。

(イ) 主な事業の実績

**子育て体験学習の推進（事業番号 71◆1）**

夫婦で子育てする意識を啓発するために、パパ同士・ママ同士の座談会をメインとした子育て教室を開催。（開催回数：12回、参加人数 431名）

**講座の開催やグループ活動の支援（事業番号 76◆2）**

男女共同参画センター主催講座を通して、継続的な団体として活動を始められるように支援を行い、支援団体が2団体増え7団体になった。

③ 多様な生き方を選ぶための条件整備

(ア) 目的

- ・生涯にわたって学び続けるための学習機会や内容の充実を図る。
- ・一人ひとりが生きがいを持って生活できるよう、地域活動への参加の促進や学習機会の提供を行う。
- ・男性が家庭や地域における役割を十分に果たせるような環境整備や日常生活支援を行うとともに、男性の参画が少ない分野への参画支援を行う。

(イ) 主な事業の実績

**子ども連れでいける施設の整備・活用（事業番号 78◆1）**

子育て中の親が学習するための場に子どもを連れての参加を容易にするため、地域のボランティアの協力で一時保育を行い、保護者の学習機会の充実を図った。

**男性の多様な分野への参画の支援（事業番号 84）**

家庭や地域との関わりが深くなる中高年の市民を対象に、地域や家庭への関心を深めるための講座を行い、意識の向上を図った。

**主要課題Ⅳ 健やかに暮らす — いきいきと暮らすための健康と福祉の増進 — （76事業）**

一人一人が自分の健康に関心を持ち、いきいきとした生活を送ることができるよう、健康に関する活動を支援する。また、生活の自立を支援する福祉を充実させ、それぞれの状況やライフステージに応じた適切な支援を行う。

担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	33	42.9%	44	57.1%	0	0.0%	77	100%
24年度	29	37.7%	48	62.3%	0	0.0%	77	100%
25年度	20	26.0%	56	72.7%	0	0.0%	77	100%
26年度	21	27.6%	52	68.4%	3	4.0%	76	100%



男女共同参画課による評価

年度	A 積極的な推進が見られた		B 現状維持（具体的な取組を行った）		C 取り組み方が十分でない		D・E・F 未実施・休止・廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	36	46.8%	41	53.2%	0	0.0%	0	0.0%	77	100%
24年度	30	39.0%	46	59.7%	1	1.3%	0	0.0%	77	100%
25年度	20	26.0%	55	71.4%	1	1.3%	1	1.3%	77	100%
26年度	24	31.6%	49	64.5%	0	0.0%	3	3.9%	76	100%

① 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進

(ア) 目的

- ・心と体の健康づくりを支援するため、健康診査及び健康相談等を実施する。
- ・安心して出産や子育てができるよう、思春期世代までを包括した母子保健事業の推進に努める。

(イ) 主な事業の実績

**地域組織活動の支援（事業番号 85）**

やちよ元気体操の普及と住民主体の健康づくりを推進する人材を育成するため「やちよ元気体操応援隊養成講座」を実施した。自主活動数は増えており、住民同士が誘い合い協力して健康づくりに取り組んでいる。

**スポーツ・レクリエーション事業の実施◆ウォークラリー大会（事業番号 86◆4）**

人との交流・健康維持・増進等を目的に八千代市レクリエーション協会との共催でウォークラリー大会を実施。凧上げなどの体験ができるようにしたことで参加者の増加を図ることができた。

**子ども医療費助成事業（事業番号 92）**

通院・調剤に係る医療費について、8月診療分から助成対象を小学校3年生までから中学校3年生までに拡大した。

① 自立した生き方を支える福祉の充実

(ア) 目的

- ・安心して子育てができるよう、保育ニーズにあった事業や相談、情報提供の充実を図る。また、子育て期も積極的に社会参加できるよう、環境の整備を行う。
- ・ひとり親の家庭が安心して暮らせるよう支援する。
- ・高齢者や障害のある方の尊厳の保持に努め、自立した生活を支援するため、地域での介護力を高めるための施策の推進に努める。

(イ) 主な事業の実績

**保育園事業の充実◆乳児保育定員の拡充（事業番号 96◆5）**

産休明け保育実施園の増加を図り、女性が出産後も就労を継続できる環境の整備を図った。

26年度は新規に3園開設して、24園（うち民間16園）になった。

**安心して子育てができる地域づくり（事業番号 103）**

地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点として、妊娠出産から乳幼児期までの切れ目のない支援を提供し、親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供した。

**生きがいデイサービス事業（事業番号 119）**

家に閉じこもりがちな高齢者が、デイサービスセンター等に通所することで、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図った。

**主要課題Ⅴ みんなで推進する — 推進体制の整備と協働の推進 —（15事業）**

男女共同参画社会の実現に向けた取組を効果的に推進するため、計画の進行管理を強化し、市民や関係機関との連携・協働の推進体制の整備を行った。

担当課評価

年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	15	100%
24年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	15	100%
25年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	15	100%
26年度	8	53.3%	7	46.7%	0	0.0%	15	100%

男女共同参画課による評価

年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持（具体的 な取組を行った）		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%
24年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%
25年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%
26年度	8	53.3%	7	46.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%

① 連携・協働体制の構築

(ア) 目的

- ・やちよ男女共同参画プラン懇話会の開催や市民対象の各種調査を行うとともに、男女共同参画センター利用団体と連携し、男女共同参画事業への市民参加の推進を図る。
- ・国、県、近隣自治体と連携を図りながら施策の取組を推進するとともに情報交換を行い、効果

的な事業の実施を図る。

(イ) 主な事業の実績

市民意見導入の推進 (事業番号 128)

やちよ男女共同参画プラン懇話会を開催し、やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画の進捗状況及びやちよ男女共同参画プラン第2期実施計画策定計画や男女共同参画事業の報告などを行い、意見収集を行った。

② 推進体制の強化

(ア) 目的

- ・男女共同参画センターの周知を図るとともに、他団体とのネットワーク化を推進する。
- ・庁内推進組織を設置し、組織的に施策に取り組む。
- ・やちよ男女共同参画プランの進行状況の管理及び評価を行い、市民や市職員に対し公表する。

(イ) 主な事業の実績

市職員への研修機会の提供 (事業番号 135◆1)

新規採用職員を対象に男女共同参画についての研修を実施し、普段から男女共同参画の視点を取り入れて業務にあたるよう意識啓発を行った。

主要課題 I ~ V (235 事業)

担当課評価

年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	113	47.1%	126	52.5%	1	0.4%	240	100%
24年度	113	47.1%	126	52.5%	1	0.4%	240	100%
25年度	109	46.4%	125	53.2%	1	0.4%	235	100%
26年度	80	34.1%	150	63.8%	5	2.1%	235	100%

男女共同参画課による評価

年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持 (具体的な 取組を行った)		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	136	56.9%	102	42.7%	0	0.0%	1	0.4%	239	100%
24年度	118	49.2%	121	50.4%	1	0.4%	0	0.0%	240	100%
25年度	109	46.4%	124	52.8%	1	0.4%	1	0.4%	235	100%
26年度	81	34.5%	149	63.4%	0	0.0%	5	2.1%	235	100%

担当課による評価と男女共同参画課による評価の相違について、事業番号 40◆3「リサイクル等のイベントの開催（ゴミゼロ運動）」は担当課による評価は「2 現状維持」であったが、参加者が前年度と比べて 64.2%増の 14,024 人であったことから、「A 積極的な推進が見られた」とした。事業番号 72・76◆3・83 の公民館における主催講座関係の事業は担当課による評価は「1 進んだ」であったが、参加者が前年度と比べてやや減少しているため、「B 現状維持」とした。長寿支援課による、事業番号 119「生きがいデイサービス事業」・事業番号 120「配食サービス事業の推進」・事業番号 124「緊急通報システム設置」は担当課による評価は「2 現状維持」であったが、いずれも利用が伸びているため「A 積極的な推進が見られた」とした。

事業番号 7「男女共同参画に関する調査の実施」及び事業番号 8「男女共同参画に関する情報提供」は同時に行う市民意識調査が行われなかったため未実施となった。事業番号 86◆1「スポーツ・レクリエーション事業の実施（市民体力テスト）」は前年度、参加者が少なかったため休止した。事業番号 90◆2「健康に関する知識の普及・啓発（こころの健康づくりフェア）」及び事業番号 90◆3「健康に関する知識の普及・啓発（精神障害者の家族支援教室）」は職員体制が整わなかったため、未実施となった。

### (3) 指標の進捗状況

〔資料〕 資料 3 やちよ男女共同参画プラン第 1 期実施計画 指標一覧

やちよ男女共同参画プラン第 1 期実施計画においては、23 項目の指標の目標数値を設定し、推進を図っている。前年度に比べ数値が上昇した項目は 9 項目であった。また、目標数値に到達している項目は 2 項目となっている。

### (4) 今後の取組

やちよ男女共同参画プラン第 1 期実施計画の着実な推進を図るため、今後も引き続き計画の年度ごとの進捗状況調査を実施する。また、各事業の所管課に対しヒアリングを行い、事業の詳細を把握するとともに、市職員が率先して施策に取り組むよう男女共同参画意識の向上に努める。なお、平成 27 年度は、同プラン第 2 期実施計画（平成 28 年度～平成 32 年度）の策定に向け、内容の見直しを行う。

男女共同参画社会づくりの拠点として設置されている男女共同参画センターにおいては、主催講座から立ち上がった支援団体の育成に努め、男女共同参画の推進を図る。また、男女共同参画について、より一層の意識の醸成を図るため、企業及び他課と連携した主催講座を行う。

指標については、今後も目標数値の到達に向け、引き続き推進を図っていく。

## 2 審議会等における女性委員・公募委員の登用状況報告

〔資料〕 資料4 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況集計  
資料5 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況一覧

### (1) 目的

審議会等における女性委員及び公募委員の登用状況を把握し、今後の女性委員登用推進を目指すための働きかけの基礎資料にするとともに、各課と連携して行政における男女共同参画を促進することを目的とする。

公募委員の登用については、市民参加の推進と女性委員の登用率の向上を図ることを目的とする。

### (2) 目標

#### ① 審議会等における女性委員比率目標達成（事業番号 26）

政策・方針決定の場に女性の視点や意見を積極的に反映させるため、市が設置する審議会等の女性委員の割合を目標数値に到達させることとし、すべての審議会等に女性が委員として参画することを推進する。目標数値 35%（平成 27 年度末）。

#### ② 審議会・委員会等委員における公募委員登用機会均等（事業番号 27）

審議会等委員の選任にあたっては、可能なかぎり公募による委員の選任に努めるとともに、男女の区別なく広く市民一般の参加が推進されるよう、登用機会の均等を図る。

目標数値 20%（平成 27 年度末）。

### (3) 審議会等数・委員数（平成 27 年 4 月 1 日現在）

- |                |    |                     |              |
|----------------|----|---------------------|--------------|
| ① 審議会等数        | 71 | 審議会等・委員総数           | 867人         |
| ② 女性のいる審議会等数   | 61 | 審議会等（85.9%）・女性委員数   | 276人（31.8%）  |
| ③ 公募委員のいる審議会等数 | 31 | 審議会等（86.1%※1）・公募委員数 | 85人（21.9%※2） |

※1 公募委員登用が難しいものを除く 36 審議会等からの割合

※2 公募委員登用が難しいものを除く 36 審議会等の委員総数 388 人からの割合

### (4) 登用状況及び今後の見解

全委員数 867 人のうち女性委員は 276 人で、登用率は 31.8%となっており、前年の 33.0%に比べ 1.2 ポイント減少している。女性委員の割合が 35%に達していない審議会等の所管課に対し、理由を調査した結果、「関係機関からの委嘱・充て職であるため」が 25 審議会等、「専門的知識・資格を要するため」が 15 審議会等、「市民公募した際、女性の応募が少なかったため」が 12 審議会等であった。（重複回答有）

公募委員については 85 人のうち女性委員は 34 人で、割合は 40.0%となっており、前年の 44.0%に比べ 4.0 ポイント減少した。市民の意見を取り入れる観点からも、公募委員数の増加が望まれる。

審議会等における女性委員・公募委員登用状況

(各年度4月1日現在)

年度	審議会等における登用状況											
	審議会総数					委員総数						
	女性委員 のいる 審議会等数		割合	公募委員 のいる 審議会等数		割合	女性委員		公募委員			
	委員数	割合	委員数	割合	うち 女性 委員		割合					
23	67	62	92.5%	26	38.8%	845人	259人	30.7%	73人	8.6%	28人	38.4%
24	69	54	78.3%	19	27.5%	886人	277人	31.3%	83人	9.4%	37人	44.6%
25	68	60	88.2%	26	38.2%	859人	273人	31.8%	76人	8.8%	33人	43.4%
26	70	64	91.4%	30	42.9%	903人	298人	33.0%	84人	9.3%	37人	44.0%
27	71	61	85.9%	31	86.1%	867人	276人	31.8%	85人	21.9%	34人	40.0%

・H27年度の公募委員のいる審議会等数の割合及び公募委員の委員数の割合は、公募委員登用が難しいものを除く、36審議会等数（委員総数388人）からの算出による